

「花火」は、遊び方や注意事項を守ってください

幼児が花火でやけど

事例

親が持っていた花火に1歳の幼児が手を添えたところ、突然柄が折れて火花が散ったために、幼児が顔と角膜にやけどを負った。(平成21年5月 熊本県)

原因

幼児が手を添えた際に、思いがけず強い力が加わったために柄が折れ、その衝撃で花火の火が飛散したものです。

なお、取扱説明書には「3歳以下には使用させない」旨が記載されていました。



花火は子どもだけでしないでください。必ず大人が付き添ってください。また、取扱説明書をよく読んで、遊び方や注意事項を守ってください。万一のとき、消火できるようにバケツなどを用意しましょう。

原因

警告表示で禁止されている着火具を使用していました。そのため、あぶってはいけない竹ひごが燃えて、花火が思わぬ方向に飛んでしまったものです。

飛んできた花火で目にケガ

事例

花火に火をつけたら、花火が横向きに飛んで左目にあたり、重傷を負った。(平成20年8月 岐阜県)

長期間使用のエアコンで火災

事例

エアコンとエアコンの周辺を焼く火災が発生した。(平成21年8月 福岡県)

原因

長期使用によりファンモーターの運転コンデンサーが絶縁劣化し、内部でショートして火が出て周辺の樹脂に延焼したものです。



NITEには、10年を超えて使用していたエアコンの事故が報告されています。エアコンに次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止して販売店やメーカーに相談してください。

- ①電源コードやプラグが熱い。
- ②電源プラグが変色している。
- ③焦げくさいにおいがする。
- ④ブレーカーが頻繁に落ちる。
- ⑤室内機から水漏れがする。
- ⑥架台や吊り下げ等の取付部品が腐食していたり、取付がゆるんでいる。

草刈機があたって死亡

事例

草刈機の刃が近くにいた人にあたって死亡した。(平成20年6月 鹿児島県)

原因

肩掛け式の草刈機で作業しながら斜面を登っていたところ、近くにいた人の足に刃があたってしまったものです。



草刈機での作業は、人の近くや無理な姿勢でしないでください。草刈機を石や切り株など固いものにあてると周囲に飛んで危険です。必ず肩掛けバンドをはめてください。

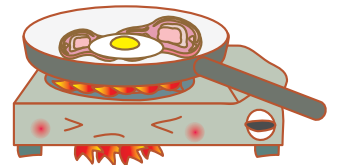
ガスボンベが爆発してやけど

事例

カセットコンロで調理していたら、ガスボンベが爆発して2人がやけどを負った。(平成21年11月 福井県)

原因

五徳を収納したまま使用していたため、フライパンの底とコンロが接触状態になって加熱され、コンロ全体が過熱して、ボンベが破裂したものです。



五徳は正しく装着してください。また、カセットコンロを覆うような大きな鉄板や鍋を使用しないでください。炭を金網に乗せたり、直接おこしたりするのも危険です。

 このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いするものです。

